

体育祭2023

6月8日(木)

予備日 13日(火)

駒沢オリンピック公園(第2球技場)

全員生誕。~the beginning of HOYU story~



体育祭当日諸注意事項

○集合場所と時間

- ・集合場所 フィールド荷物置き場（2ページ参照）
- ・集合時間 AM 8：40（時間厳守）

※8：40にクラスの集合場所にいなかった場合は遅刻となる

※遅刻・欠席をする場合は必ず担任へ連絡を入れる事

○服装

- ・上着は体育祭Tシャツ、下は体操着を着用する事
- ・靴は運動靴（スパイクシューズ不可）
- ・染色、パーマ、化粧、ボディーペイント、シールなど校則違反となる身だしなみは厳禁。また、髪の毛は肩に掛かる長さ以上の場合はまとめ、装飾品は競技に支障がなく、安全に配慮した物、華美でない物に留める事。

○持ち物

- ・飲料水（ペットボトル1本を凍らせておくとよい）
- ・熱中症対策用品（帽子、日傘、日焼け止め、保冷剤等）
- ・雨具（体育祭は少雨決行）

○競技中の待機場所について

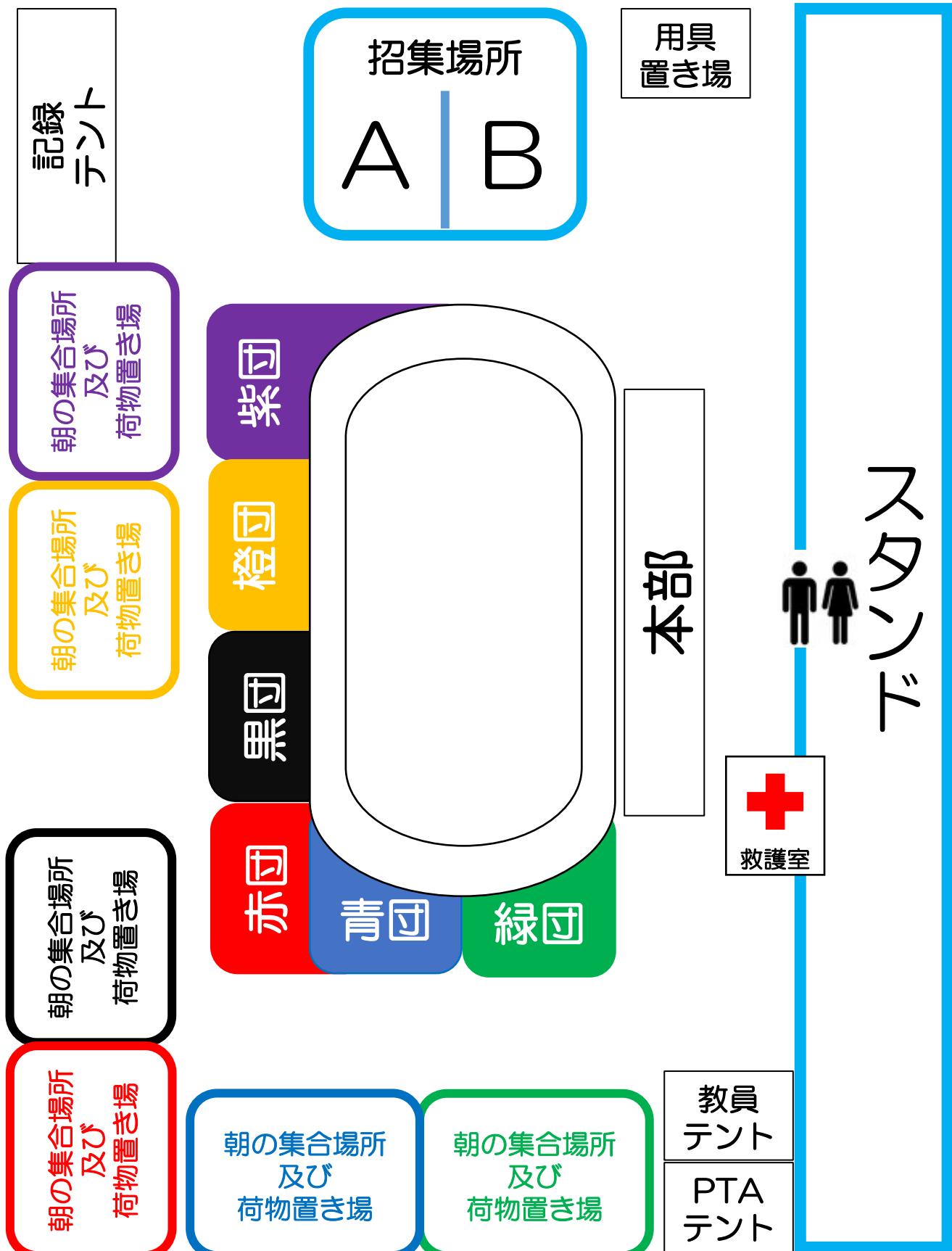
- ・全学年グラウンドが待機場所となる（2ページ参照）

※ただし、応援合戦は一般生徒は全員スタンド席で観戦します

○水分補給と昼食について

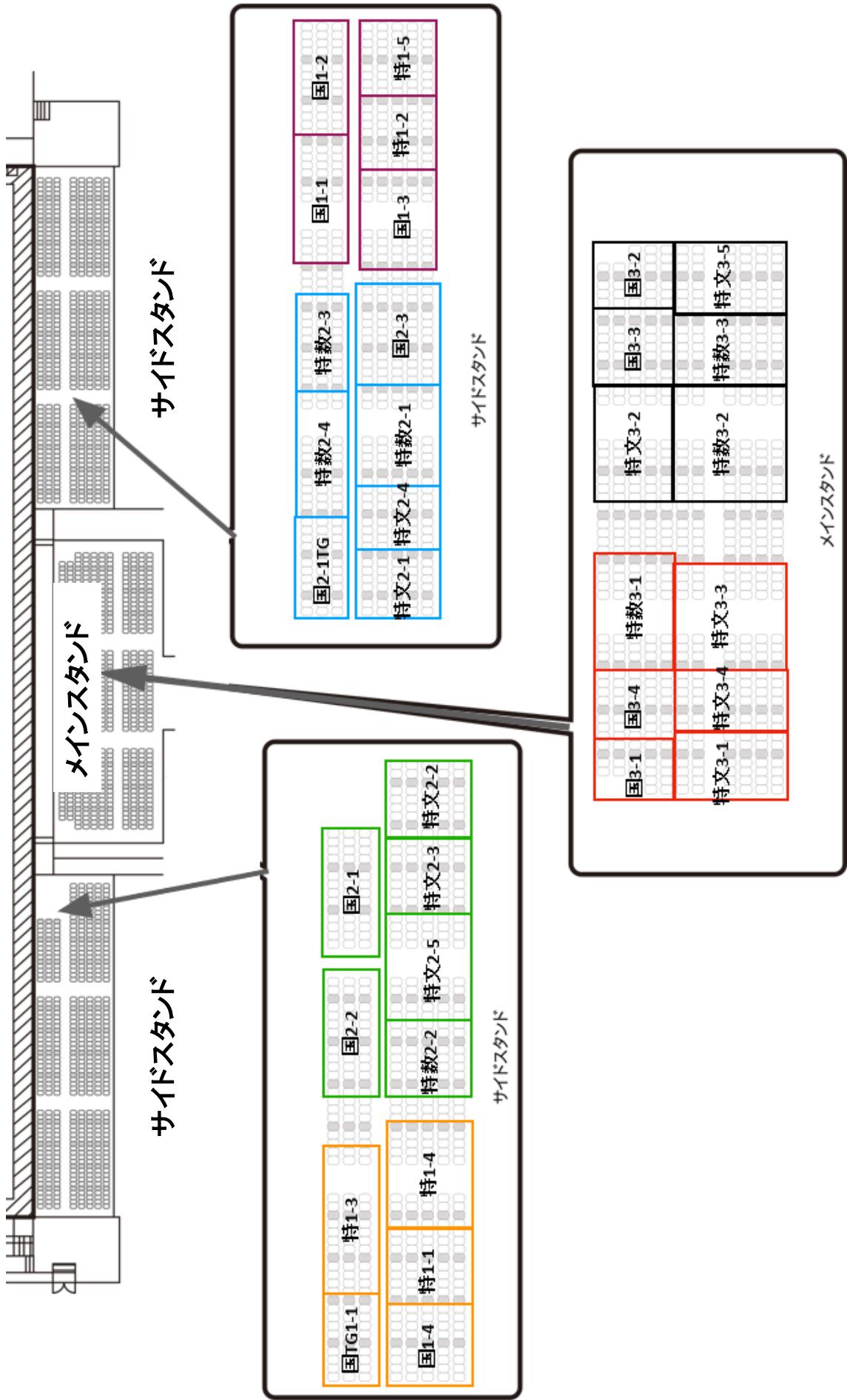
- ・昼食時はスタンド席に移動します（座席割は3ページ参照）
- ・水分補給はブルーシート上で行う事。人工芝上は禁止

集合・待機場所/場内案内



昼食時のスタンド席座席割

本部



団分け表

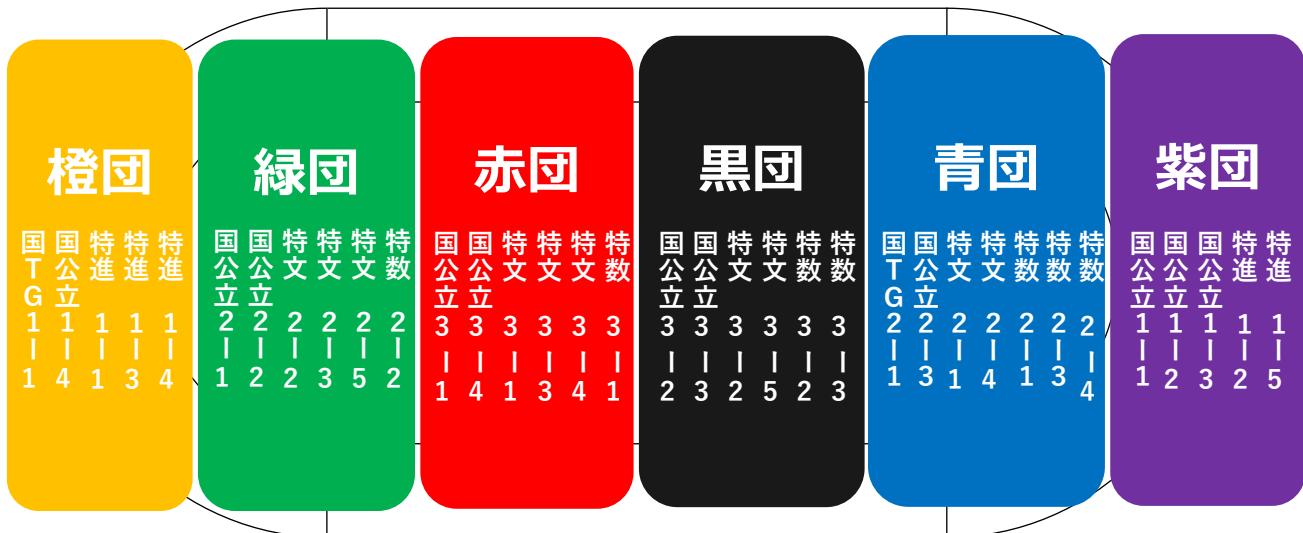
橙団	紫団
国TG1－1 国公立1－4 特進1－1 特進1－3 特進1－4	国公立1－1 国公立1－2 国公立1－3 特進1－2 特進1－5
緑団	青団
国公立2－1 国公立2－2 特文2－2 特文2－3 特文2－5 特数2－2	国TG2－1 国公立2－3 特文2－1 特文2－4 特数2－1 特数2－3 特数2－4
赤団	黒団
国公立3－1 国公立3－4 特文3－1 特文3－3 特文3－4 特数3－1	国公立3－2 国公立3－3 特文3－2 特文3－5 特数3－2 特数3－3

体育祭企画運営委員会

企画委員		
委員長	特文3-1	地下 玄乃
副委員長	特文3-5	山田 有優
委員	特数2-1	三浦 周大
	特数2-3	遠藤 永里香
	国公立1-1	小林 芽奈
	特進1-5	長嶋 真輝
役割長		
審判長	特文3-2	上野 優太
招集・誘導長	特数3-3	宮本 天馬
用具長	特文3-3	村上 晴紀
記録長	特文3-5	高橋 沙良
生徒会執行部		
副会長	国公立3-4	塚口 莉菜
	特文2-2	荒木 岳道
会計	国TG2-1	早乙女 広空
	国公立2-2	莢田 優人
	国公立2-3	須田 彩文
応援団長		
橙団	特進1-4	田内 輝
紫団	国公立1-1	広末 幸心
緑団	国公立2-2	遠藤 瞭奈
青団	特数2-3	眞野 あおい
赤団	国公立3-4	大槻 聰也
黒団	特文3-5	荒木 珠莉亞
デザイン・制作		
Tシャツデザイン	国公立1-1	武井 愛佳
ポスターデザイン	特文 2-2	北村 実雅
パンフレット制作	国TG2-1	早乙女 広空

プログラム タイムテーブル

1	開会式		9:00	9:20
2	男女	大玉送り	9:30	9:40
3	女子	妨害玉入れ	9:50	9:55
4	男子	妨害玉入れ	10:00	10:05
5	男女	綱引き	10:15	10:35
6	男女	台風の目	10:45	10:50
7	男女	6団男女対抗リレー	11:00	11:10
8	クラブ対抗リレー		11:20	11:45
	休憩（応援合戦の準備）			
9	応援合戦		12:15	12:45
10	男女	大縄跳び	12:55	13:15
11	男女	借り人競走	13:25	13:35
12	女子	騎馬戦	13:45	14:10
13	男子	騎馬戦	14:20	14:45
14	女子	6団女子対抗リレー	14:55	15:05
15	男子	6団男子対抗リレー	15:10	15:20
16	閉会式		15:40	16:00



本部テント

式次第

(司会：企画委員 特数2－3 遠藤 永里香)

1：開会の辞

(企画副委員長 特文3－5 山田 有優)

2：校長挨拶

3：優勝旗・応援楯返還 (黒団)

4：団長決意表明

5：準備運動 「ラジオ体操」

()

6：注意事項

審判 (係長 特文3－2 上野 優太)

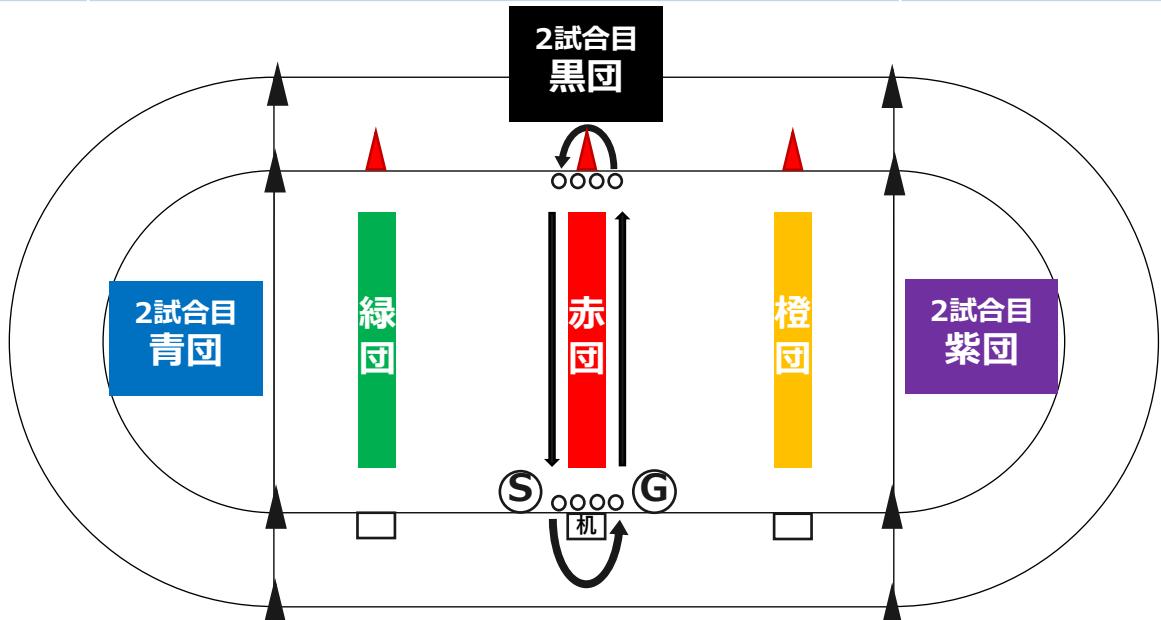
招集・誘導 (係長 特数3－3 宮本 天馬)

用具 (係長 特文3－3 村上 晴紀)

記録 (係長 特文3－5 高橋 沙良)

救護 (生徒会副会長 特文2－2 荒木 岳道)

体育祭企画 (企画委員 国公立1－1 小林 芽奈)



本部テント

人数	全校生徒	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・大玉送りは、大玉を全校生徒で受け渡していくスピードを競い合う競技である

競技内容詳細

- 図のように、指定の範囲に各団任意の列で並ぶ
各色の団長、副団長の3名はスタート位置（S）につき、補助員は列の横で待機しておく
- スタートの合図と一緒に団長・副団長は机にのせてある大玉を生徒の列の頭上まで運び、渡す
- 大玉が列から落ちないよう最後尾まで送っていく
団長・副団長・補助員は大玉が列から落下しないようにサポートをする
- 団長・副団長は大玉を受け取りコーンを回るように折り返して列まで戻り、大玉を列に戻す
- 同様の流れで大玉を2往復させ、最後に団長・副団長が前列に戻ってきた大玉を机の上に載せた時点でゴールとなる

諸注意事項

- ・大玉が列から落下しないように団長・副団長の他、補助員を3名動員してもよい（応援団から選出）
- ・大玉が列から落下した場合は落下した位置から再スタートする
- ・落下した大玉は団長・副団長または補助員が取りに行くこと

競技の進行について

- ・6団を2つに分けて2試合行う
- ・1試合目は赤団、緑団、橙団、2試合目は黒団、青団、紫団で行う
- ・2試合目の団は図の待機場所で座って待つ
- ・試合が終わった団は各団の待機場所に戻る

勝敗について

- ・スタートの合図からゴールまでのタイムが短い団から順位を付ける

準備する用具一覧

大玉送り

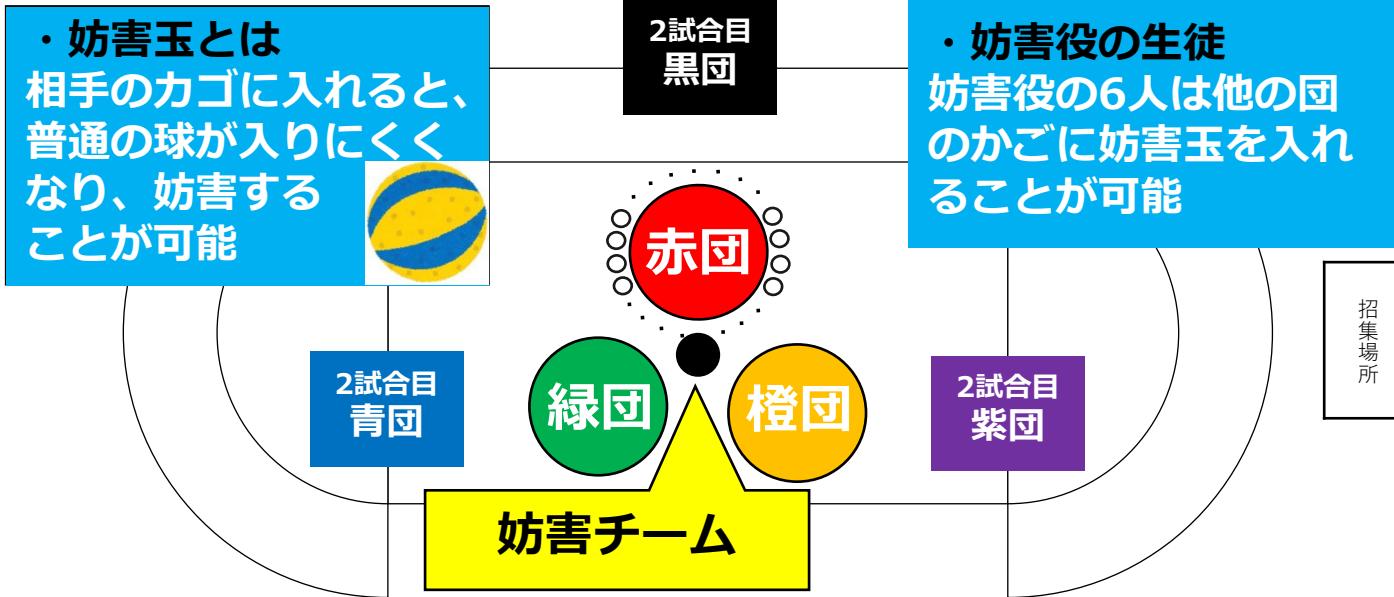
大玉	机	各色コーン	空気入れ	ピストル
3	6	3	1	1

役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
なし	なし	国TG11 古屋 特15 長嶋 特15 神谷 国23 田村 特数21 三浦 特数21 徳佐 特文31 神谷 特文34 平井 特数32 小原	なし

招集場所での並び方

なし
アナウンスで呼びかけ予定



人数	合計360人 各団60人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・妨害玉入れは、指定時間内にかごに入れた玉数を競い合う競技である

競技内容詳細

- (i) 図のように各団が所定の位置につく
- (ii) スタートの合図と一緒に枠内に入り玉を拾ってかごに向かって投げる（位置は自由）
- (iii) 終了の合図で玉を投げるのをやめて、枠外にでる
- (iv) 審判の生徒がかごに入っている玉数を確認する

【妨害役の生徒】

- (i) 試合に出場していない団の妨害役の生徒は、図の位置につく
- (ii) 1人に1つ与えられる妨害玉（ソフトバレーボール）を、枠外から試合中の3団のかごに向かって投げる

諸注意事項

- ・制限時間は1分とする
- ・妨害役の生徒は練習日に1団2人ずつ選出する
- ・妨害役の生徒は枠内に入ってはならず、妨害玉（ソフトバレーボール）が枠内に入ってしまった場合はすぐ枠内に入り、ボールを回収して枠外に戻る
- ・妨害玉（ソフトバレーボール）は玉数にカウントしない
- ・妨害役の生徒以外は妨害玉（ソフトバレーボール）に触れてはならない
- ・妨害役の生徒は白ビブスを着用する
- ・妨害役の生徒は試合に出てない3団から出場する
- ・枠内の半径は2.75m

競技の進行について

- ・6団を2つに分けて2試合を行い、1試合目は赤団、緑団、オレンジ団、2試合目は黒団、青団、紫団で行う（妨害役の生徒は逆の試合に出席する）
- ・2試合目の団は図の待機場所で座って待ち、試合が終わった団は各団の待機場所に戻る

勝敗について

- ・制限時間内により多くの玉をかごに入れていた団から順位をつける

準備する用具一覧

妨害玉入れ（女子）

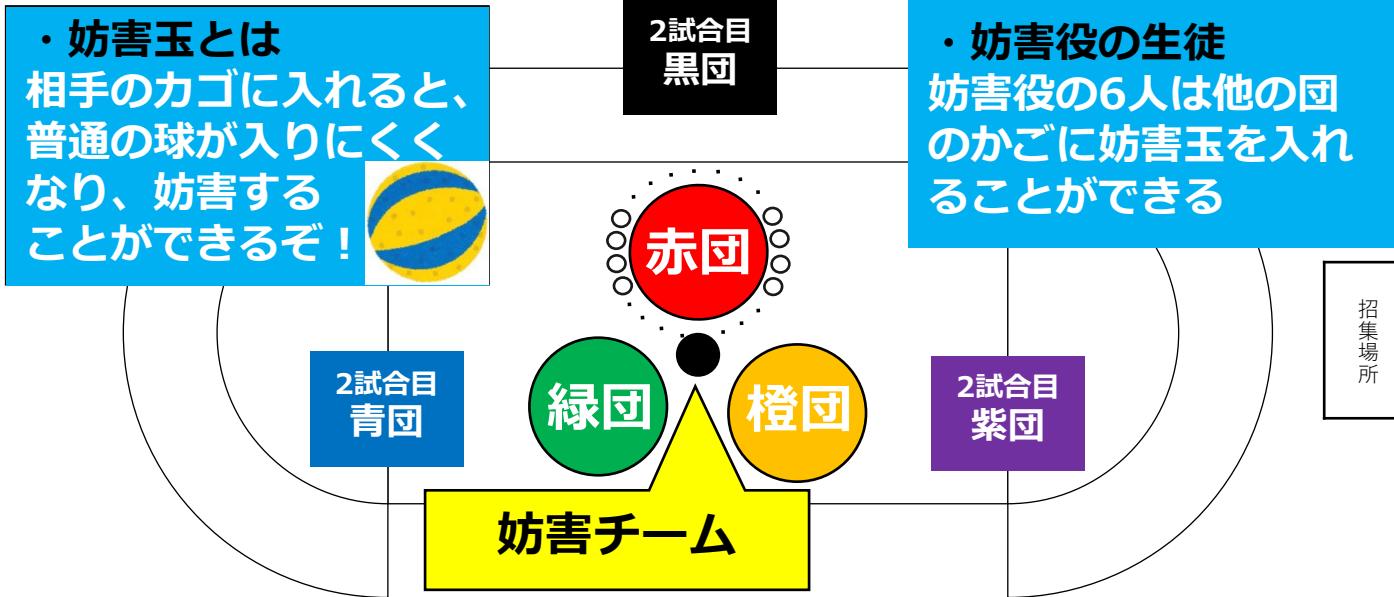
玉	ソフトバレー ボール	カゴ	ポリバケツ
多数	8	3	6
マーカー	白ビブス	ピストル	赤コーン
多数	8	1	12

役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
宮戸	なし	国13 若月	特文35 高橋
大木		特14 岩田	特数31 武谷
白井		特15 長嶋	
葛西		国TG2 星野	
四方		国23 田村	
新原		特文21 高野	
天野		特文22 横尾	
		特数21 三浦	
		特文31 村上	
		特文33 井内	
		特文34 清水	
		特数32 小原	

招集場所での並び方

なし
アナウンスで呼びかけ予定



人数	合計300人 各団50人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・妨害玉入れは、指定時間内にかごに入れた玉数を競い合う競技である

競技内容詳細

- (i) 図のように各団が所定の位置につく
- (ii) スタートの合図と一緒に枠内に入り玉を拾ってかごに向かって投げる（位置は自由）
- (iii) 終了の合図で玉を投げるのをやめて、枠外にでる
- (iv) 審判の生徒がかごに入っている玉数を確認する

【妨害役の生徒】

- (i) 試合に出場していない団の妨害役の生徒は、図の位置につく
- (ii) 1人に1つ与えられる妨害玉（ソフトバレーボール）を、枠外から試合中の3団のかごに向かって投げる

諸注意事項

- ・制限時間は1分とする
- ・妨害役の生徒は練習日に1団2人ずつ選出する
- ・妨害役の生徒は枠内に入ってはならず、妨害玉（ソフトバレーボール）が枠内に入ってしまった場合はすぐ枠内に入り、ボールを回収して枠外に戻る
- ・妨害玉（ソフトバレーボール）は玉数にカウントしない
- ・妨害役の生徒以外は妨害玉（ソフトバレーボール）に触れてはならない
- ・妨害役の生徒は白ビブスを着用する
- ・妨害役の生徒は試合に出てない3団から出場する
- ・枠内の半径は2.75m

競技の進行について

- ・6団を2つに分けて2試合を行い、1試合目は赤団、緑団、オレンジ団、2試合目は黒団、青団、紫団で行う（妨害役の生徒は逆の試合に出席する）
- ・2試合目の団は図の待機場所で座って待ち、試合が終わった団は各団の待機場所に戻る

勝敗について

- ・制限時間内により多くの玉をかごに入れていた団から順位をつける

準備する用具一覧

妨害玉入れ（男子）

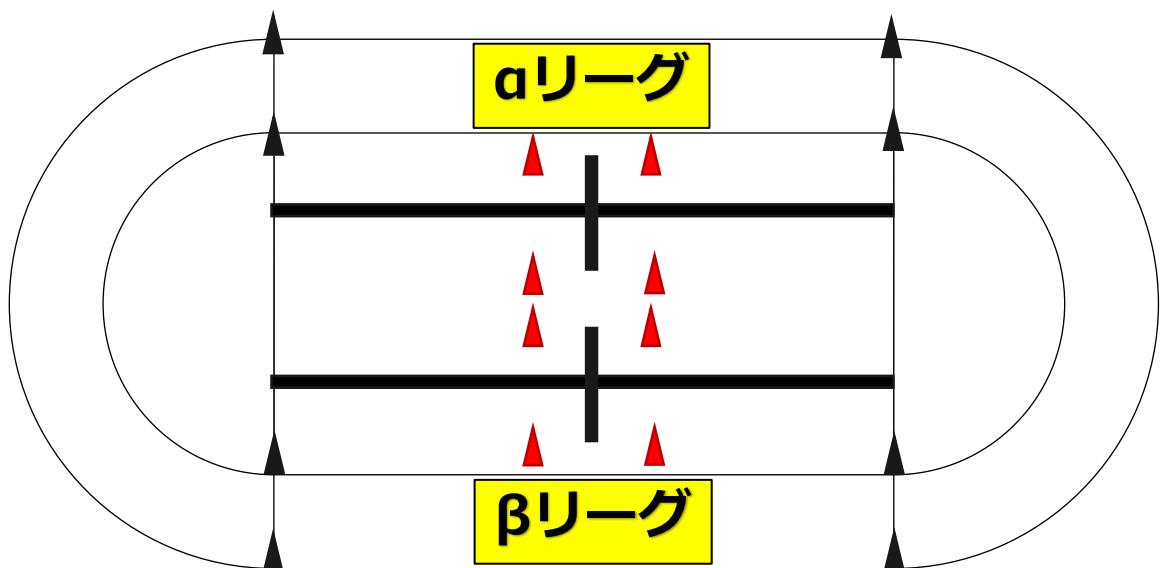
玉	ソフトバレー ボール	カゴ	ポリバケツ
多数	8	3	6
マーカー	白ビブス	ピストル	
多数	8	1	

役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
宮戸	なし	国13 若月	特文35 高橋
大木		特14 岩田	特数31 武谷
白井		特15 長嶋	
葛西		国TG2 星野	
四方		国23 田村	
新原		特文21 高野	
天野		特文22 横尾	
		特数21 三浦	
		特文31 村上	
		特文33 井内	
		特文34 清水	
		特数32 小原	

招集場所での並び方

なし
アナウンスで呼びかけ予定



人数	合計480人 各団男女20人ずつ×2チーム	勝数	2勝	1勝	0勝
		得点	10	6	3

競技種目概要

- ・綱引きは、2つの団が一本の綱をお互いの陣地に向けて引き合い、その優劣を競う競技である

競技内容詳細

- (i) 綱の中央に向かい合うように対戦する団でそれぞれ列をつくり綱を持つ
- (ii) スタートの合図と同時に綱を引く
- (iii) 綱の中心部分が所定のラインを越えた時点で試合終了となる

諸注意事項

- ・男女混合チームで行う（並び方は自由）
- ・各団でAチームとBチームをつくる
- ・1試合目はAチーム、2試合目はBチームが試合を行う

競技の進行について

- ・各学年のα・βの2グループでそれぞれ総当たり戦をする
- ・各リーグの対戦順は【1年VS2年→1年VS3年→2年VS3年】とする
- ・試合はα→βと交互に1試合ずつ行う
- ・試合準備はそれぞれのリーグ所定の場所で交互に行う

勝敗について

- ・綱の中心が基準となる線を先に越えた方を勝利とする
- ・勝数に合わせ、得点がもらえる

α	黒	緑	橙
黒			
緑			
橙			

β	赤	青	紫
赤			
青			
紫			

準備する用具一覧

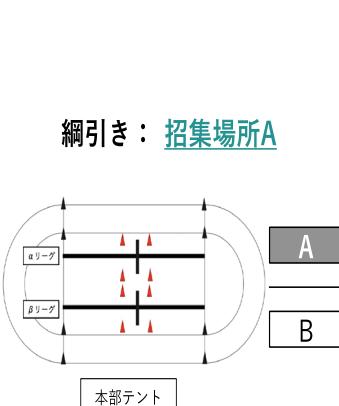
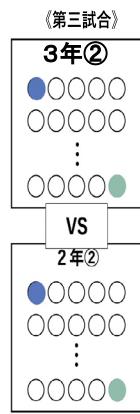
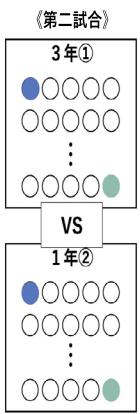
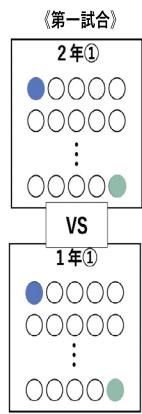
綱引き

綱	旗	赤コーン	ピストル
2	2	8	1

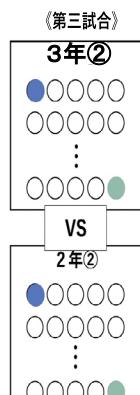
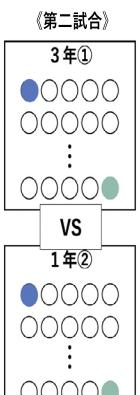
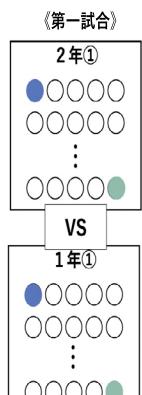
役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
上野	特11 高橋	特14 岩田	国11 小林
井上	国14 立川	特15 長嶋	特文21 新田
野一色	国TG2 長部	特15 神谷	
西	国22 廣瀬	国23 板倉	
近堂	文32 松山	国23 田村	
	数33 宮本	特文22 横尾	
		特数21 三浦	
		特数21 徳佐	
		特文31 神谷	
		特文34 清水	
		特文34 平井	
		特数32 小原	

招集場所での並び方

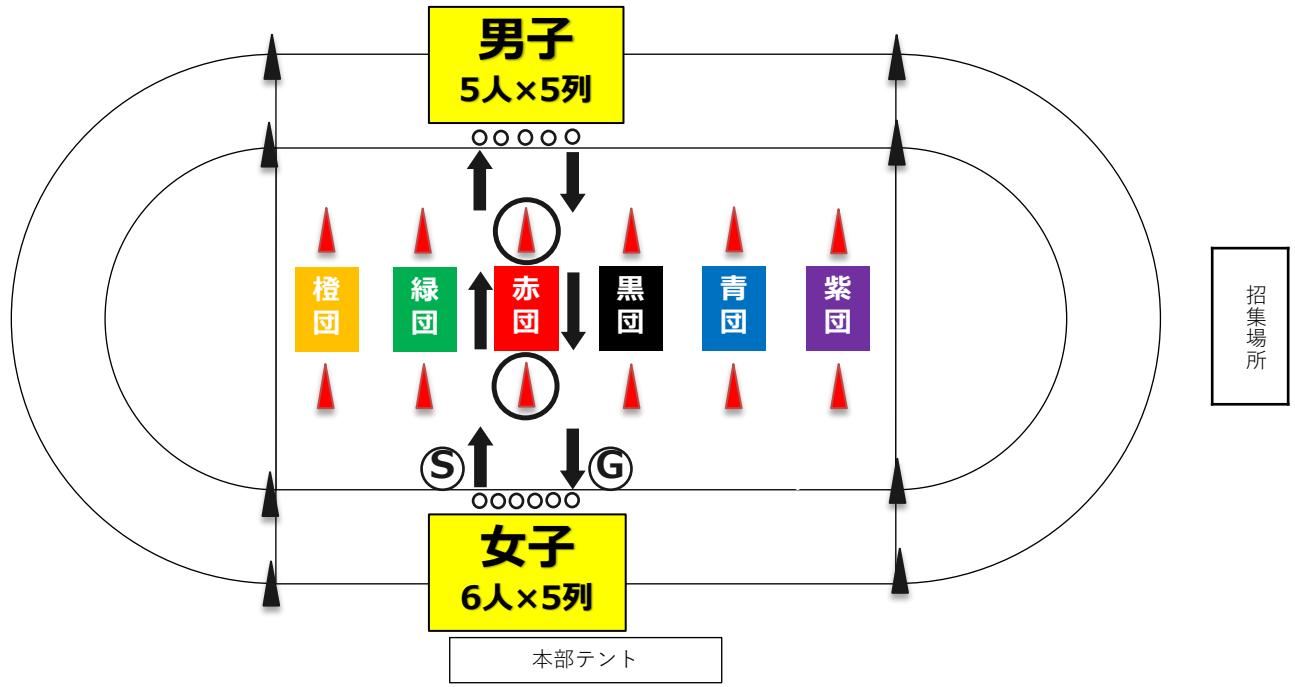


●：競技中、一番内側（赤コーン側）にいる人
●：競技中、一番外側（黒コーン側）にいる人



・各チーム縦8人×横5列となるように並ぶ。
詳しい並び方は放課後練習の時にチーム別で決定してください。

※招集場所のA,Bとの混同を避けるため、
このページでは表記が変わっていますが、
左図の①、②はそれぞれ、パンフレット
上ページに記載されている諸注意事項の、
Aチーム、**Bチーム**の意です。



人数	合計330人 各団男子25人 + 女子30人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

・台風の目は複数人で棒を持って走り、所定の位置で回転しながら走行し、棒を受け渡していく速さを競う競技である

競技内容詳細

- (i) 出場生は図のように、トラックの内側のラインに沿って女子は本部側に、男子は逆側の2か所に並ぶ
女子の列は6人横一列で5列つくる、男子の列は5人横一列で5列つくる
- (ii) スタートの合図と一緒に、本部側の先頭の列の前にある棒を持ち上げ走行する
途中に2つあるコーンをそれぞれ左から入り、コーンを中心に時計回りで1回転走行する
- (iii) 逆側の列まで到着したら、待機している生徒の足の下を通し、頭上を通して前方に戻り次の6人に棒を渡す
- (iv) (ii) から繰り返す
- (v) アンカーの組が待機生徒の足の下、頭上を通したら棒を先頭の列の前に置き、全員座った時点でゴールとなる

諸注意事項

- ・スタートの合図より前に、棒に触れてはいけない
- ・試合中、コーンを倒した場合は自分たちで元の位置に戻してその場から再スタートする（戻さない場合は失格）
- ・ゴールは全員が座った時点とする
- ・アンカーは、白ビブスを着用する
- ・ランナーは全員、1人でも棒から手を離してはいけない（ただし、生徒の足の下と頭上を通すときは両端の生徒以外は離してもよい）
- ・棒から手を離した場合は離した地点から再スタートする

競技の進行について

- ・6団同時に1試合のみ行う
- ・各色の配置は図に従うものとする

勝敗について

- ・スタートの合図からゴールまでが早い団から順位を付ける

準備する用具一覧

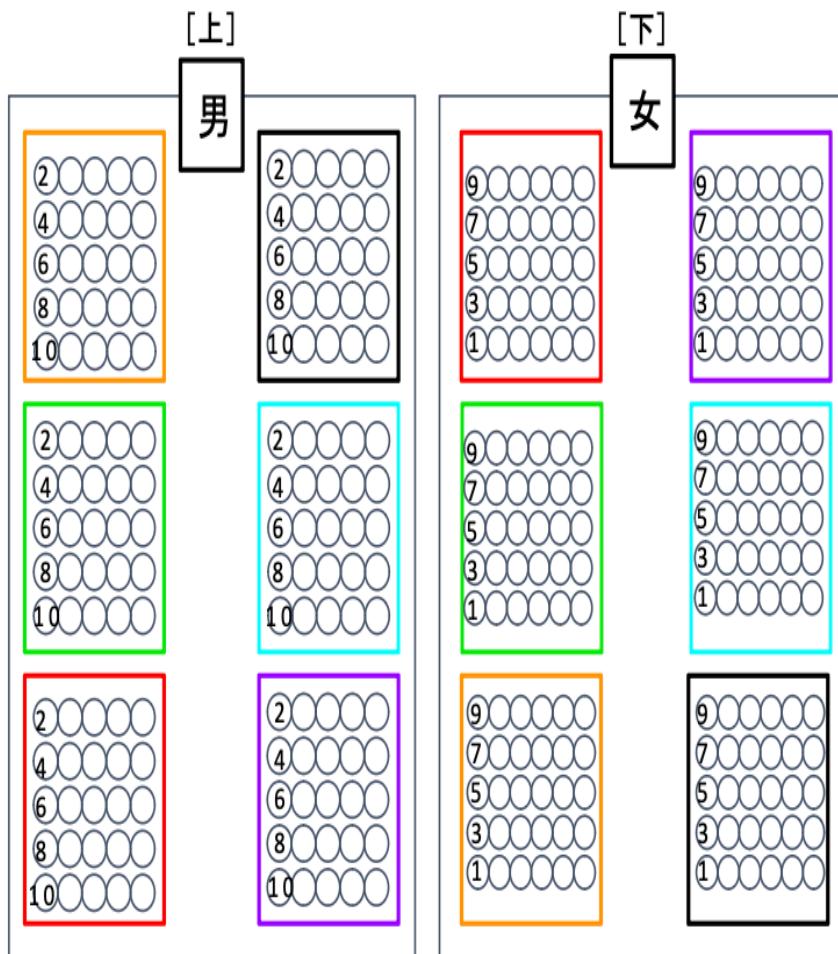
棒	白ビブス	各色コーン	旗	ピストル
8	12	2×6	6	1

台風の目

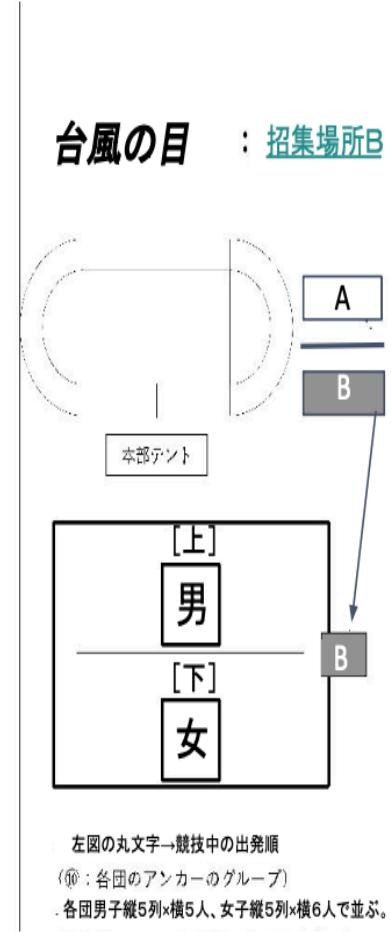
役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
上野 樋渡	特11 杉角	国13 若月	特12 西山
岩里 四方	特12 三沢	特14 岩田	特文21 新田
島袋 大木	数22 松原	特15 長嶋	
金渕	数23 遠藤	国TG2 星野	
吉野	国33 小野	国23 板倉	
谷崎	国33 志田	特文21 高野	
渡辺		特文33 井内	
尾本		特文33 村上	
藤原		特文34 清水	
大崎		特文35 山田	

招集場所での並び方



台風の目 : [招集場所B](#)

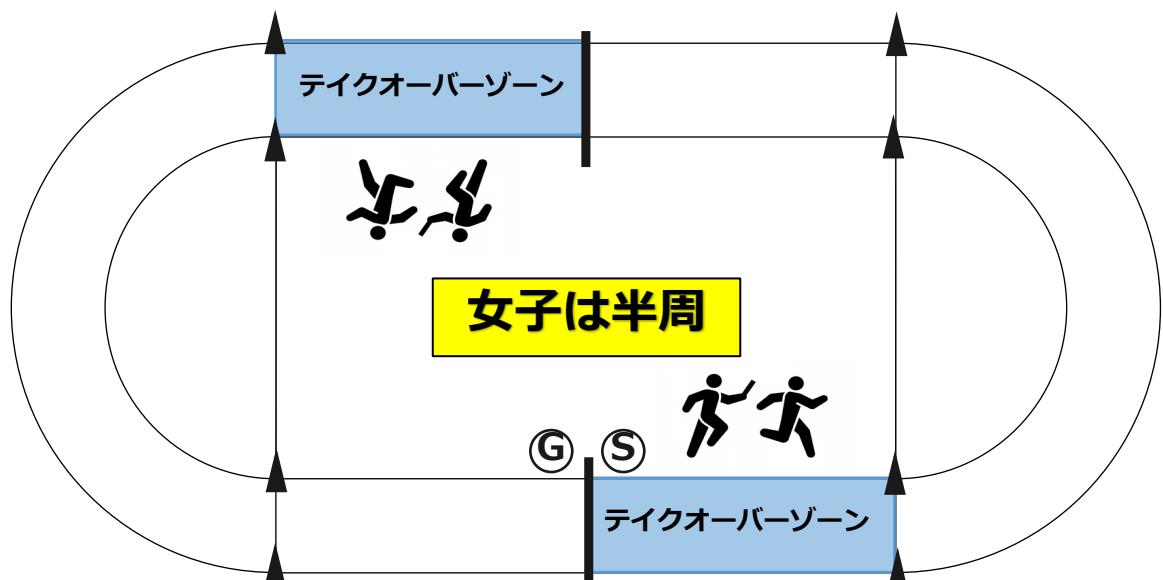


左図の丸文字→競技中の出発順

(※: 各団のアンカーのグループ)

各団男子縦5列×横5人、女子縦5列×横6人で並ぶ。

(同じグループの人が横並びになるように)



人数	合計90人 各団男子7人 + 女子8人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・6団男女対抗リレーは、各団で編成したメンバーでバトンを渡していく、スタートからゴールまでの速さを競う競技である

競技内容詳細

- (i) 第1走者は各団本部テント側のスタート位置につき、ピストルの合図でスタートする
- (ii) 女子は半周、男子は1周トラックを走る
- (iii) 女子全員が走ってから男子へとバトンを繋ぐ
- (iv) アンカーがゴールラインを通過した時点でゴールとなる

諸注意事項

- ・アンカーは白ビブスを着用する
- ・フライングがあった場合はスタートをやり直す
- ・バトンを落としてしまった場合、バトンを拾って落とした地点から再スタートする
- ・バトンの受け渡しはテイクオーバーゾーンでおこなう
(テイクオーバーゾーンでバトンを受け渡せなかった場合は失格とする)
- ・スタートしてすぐインコースに入れるものとする

競技の進行について

- ・各団同時に対戦する

勝敗について

- ・スタートの合図からゴールまでが早い団から6位まで順位を付ける

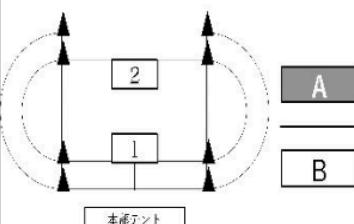
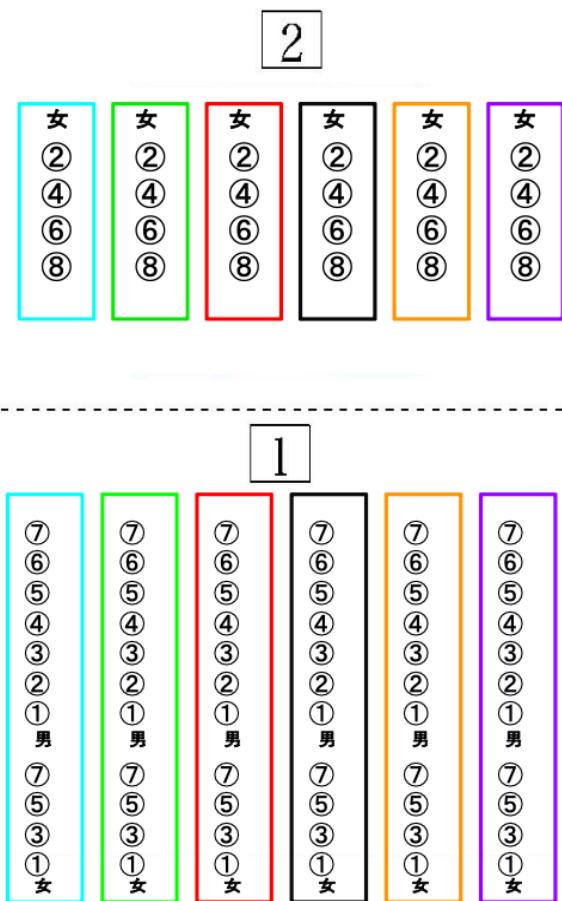
準備する用具一覧

6団男女対抗リレー

バトン	白ビブス	ゴールテープ	ピストル
6	6	1	1

役割のシフト表

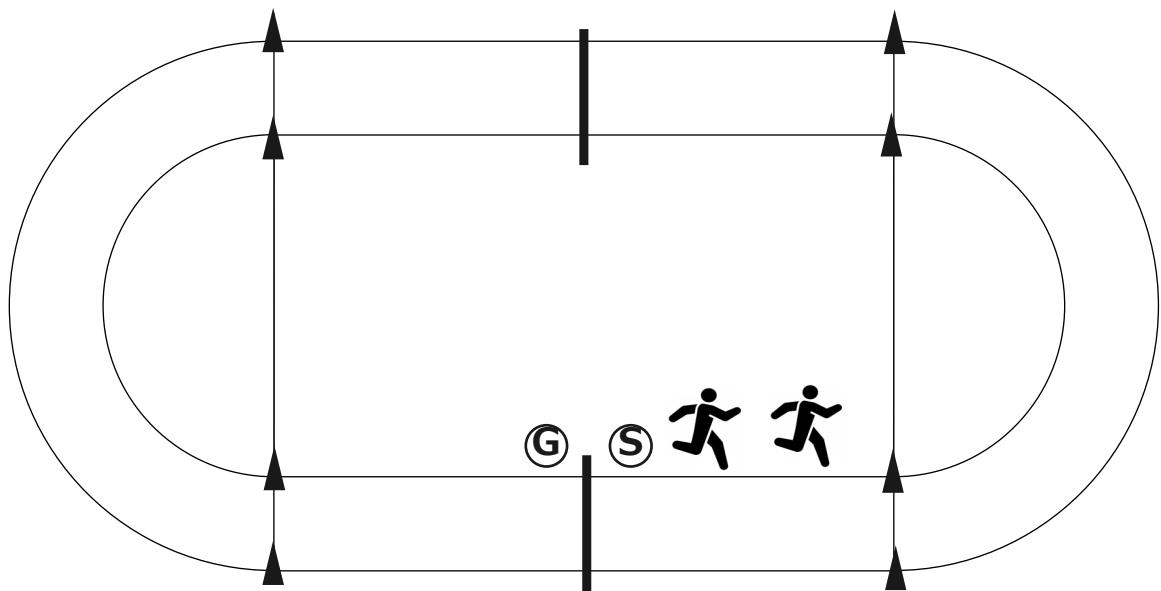
招集場所での並び方



- ・丸数字→男女別の走順
(男⑦:アンカー)

- ・女子は半周なので、スタート位置の違いで招集場所でも2箇所に分かれてもらいます。

(偶数回目に出発する女子は、左図のように、走順の若い人が本部テントと反対側を向いて並ぶ)



参加部活

アトラクション部 クイズ研究部 ダンス部 天文部 文芸部 ボードゲーム部 美術部 理工学部 合唱同好会
鉄道研究同好会

競技種目概要

- ・クラブ対抗リレーのアピールリレーは、各々部活のアピールの方法を考え、3分以内でトラックを1周する種目である

競技内容詳細

- (i) 第1走者は各部活本部テント側のスタート位置につき、ピストルの合図でスタートする
- (ii) 3分以内にゴールする。3分経過した時点で強制終了

諸注意事項

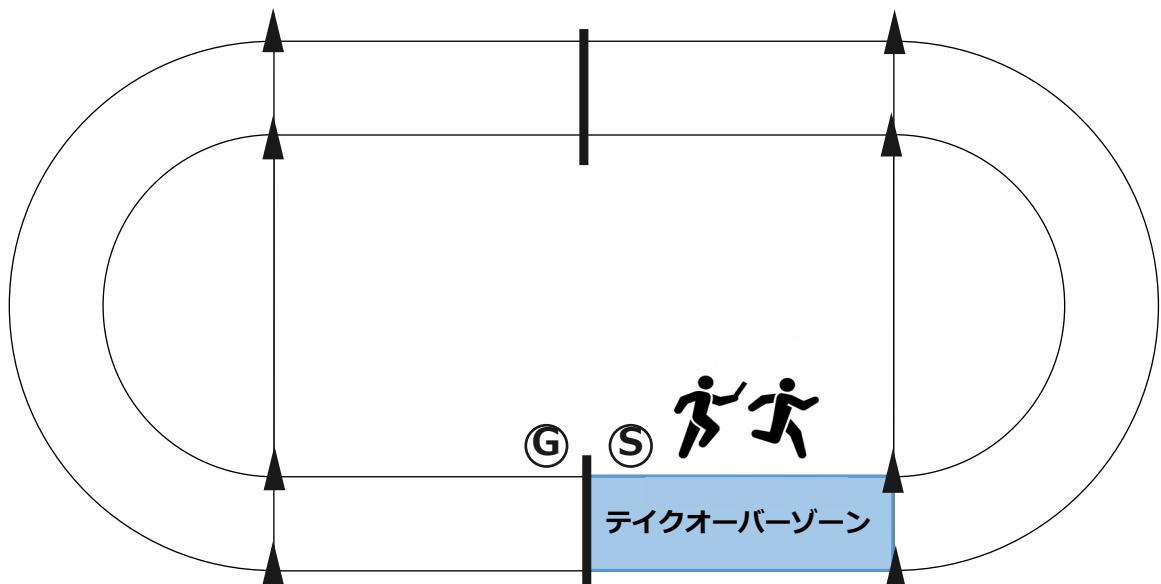
- ・他の部活の走行の邪魔にならないよう配慮しながらアピールする
- ・会場を汚したり、傷つけるような行為はしない事

競技の進行について

- ・特になし

勝敗について

- ・特になし



招集場所

男子参加部活

バスケ部 バドミントン部 バレ一部 陸上部 野球部

女子参加部活

ダンス部 テニス部 バスケ部 バドミントン部 バレ一部 陸上部

競技種目概要

- ・クラブ対抗リレーは、各部活で選抜された選手が、バトンを繋いでいき、ゴールまでの早さを競う競技である

競技内容詳細

- (i) 第1走者は各部活本部テント側のスタート位置につき、ピストルの合図でスタートする
- (ii) トラックを1周走る
- (iv) アンカーがゴールラインを通過した時点でゴールとなる

諸注意事項

- ・アンカーは白ビブスを着用する
- ・クラブごとに6人選出する
- ・フライングがあった場合はスタートをやり直す
- ・バトンを落としてしまった場合、バトンを拾って落とした地点から再スタートする
- ・バトンの受け渡しはティクオーバーゾーンでおこなう
ティクオーバーゾーンでバトンを受け渡せなかった場合は失格とする
- ・スタートしてすぐインコースに入れるものとする

競技の進行について

- ・女子のリレーが終わった後に男子を開始する

勝敗について

- ・スタートの合図からゴールまでが早い部活から6位まで順位を付ける

準備する用具一覧

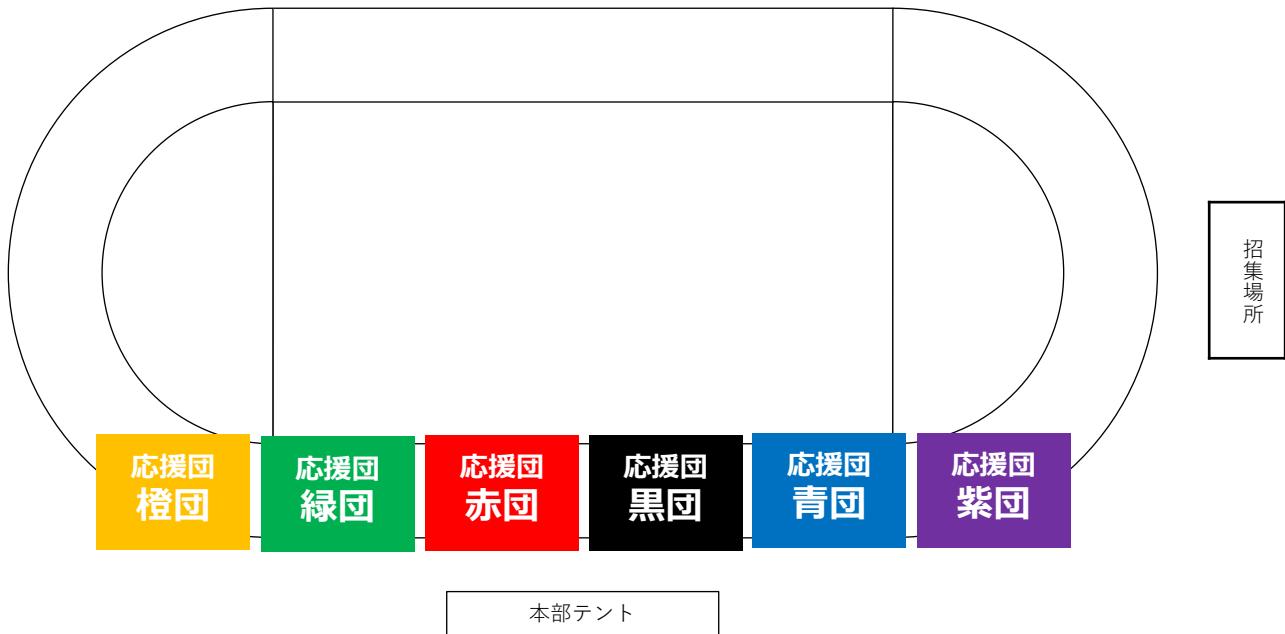
クラブ対抗ガチリレー

バトン	白ビブス	ゴールテープ	ピストル
6	6	1	1

役割のシフト表

招集場所での並び方

なし
アナウンスで呼びかけ予定



一般生徒はスタンドに着席

競技種目概要

- ・応援合戦は自団ならびに他の団を鼓舞し、体育祭のより一層の盛り上がりと健闘を促す為に行うパフォーマンスである

競技内容詳細

- (i) 各応援団は図のように任意の隊形で並び座る
- (ii) 事前に決めた順番でグラウンド中央に移動しエール交換と演舞を行う
- (iii) エール交換が終わり次第速やかに移動し、次の団がグラウンド中央に移動する

諸注意事項

- ・制限時間はエール交換と演舞で計4分間とする
- ・音源は事前に確認するが当日イヤフォンジャックのあるデバイスを持参して流す
※念のため、複数持ってくることを推奨する

競技の進行について

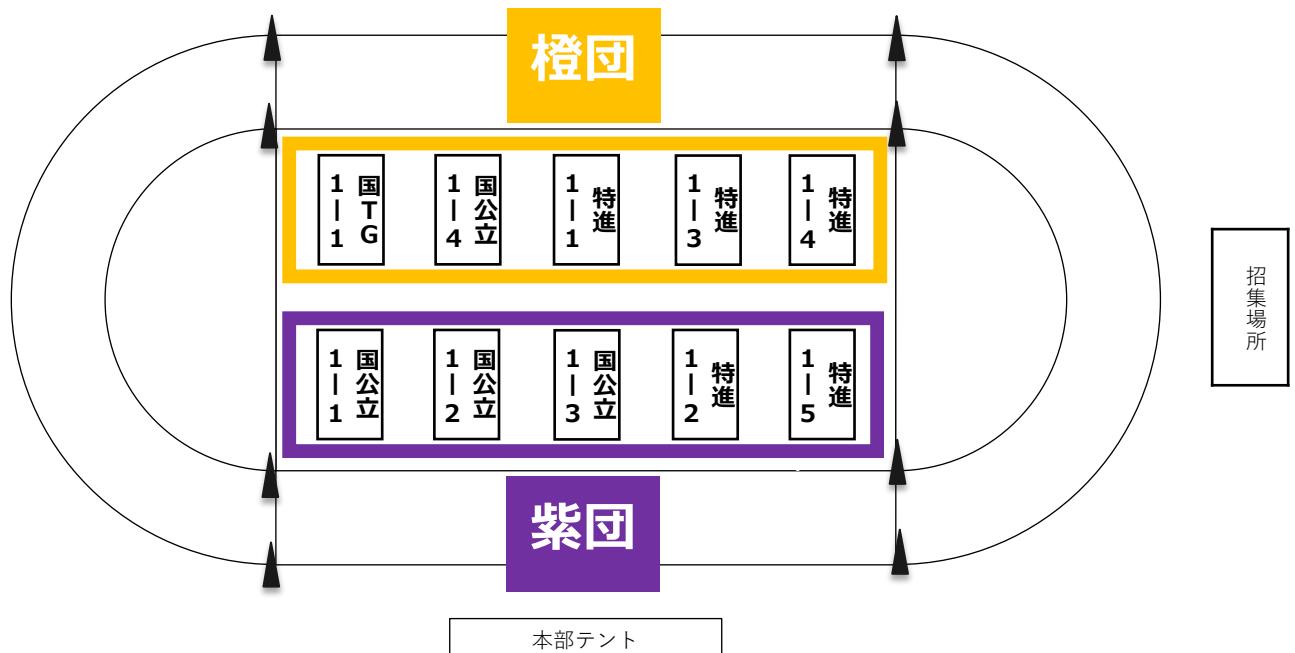
- ・一般生徒は全員スタンドの自席に着席する。エール交換に参加する応援団は本部テント前で図の通り座る
- ・事前に決定した順番で実施する

審査について

- ・審査は教職員（校長、副校長、学年主任）6人と体育祭企画6人で行う
- ・エール交換と演舞でそれぞれ15点ずつ評価する
観点内訳は以下のとおり

：創意工夫	5点
：団のまとまり・迫力	5点
：全体の構成・バリエーション	5点

 以上計30点満点とする（団の点数には入らない）



人数	1学年生徒	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・大縄は8の字跳びを行い、跳んだ累計回数を競う競技である。

競技内容詳細

- (i) 出場生徒は図のように、クラスごとに1列で並ぶ
- (ii) スタートの合図で縄を回し始め、縄を8の字で跳んでゆく
- (iii) 3分経過して終了の合図があった時点で跳ぶのをやめる

諸注意事項

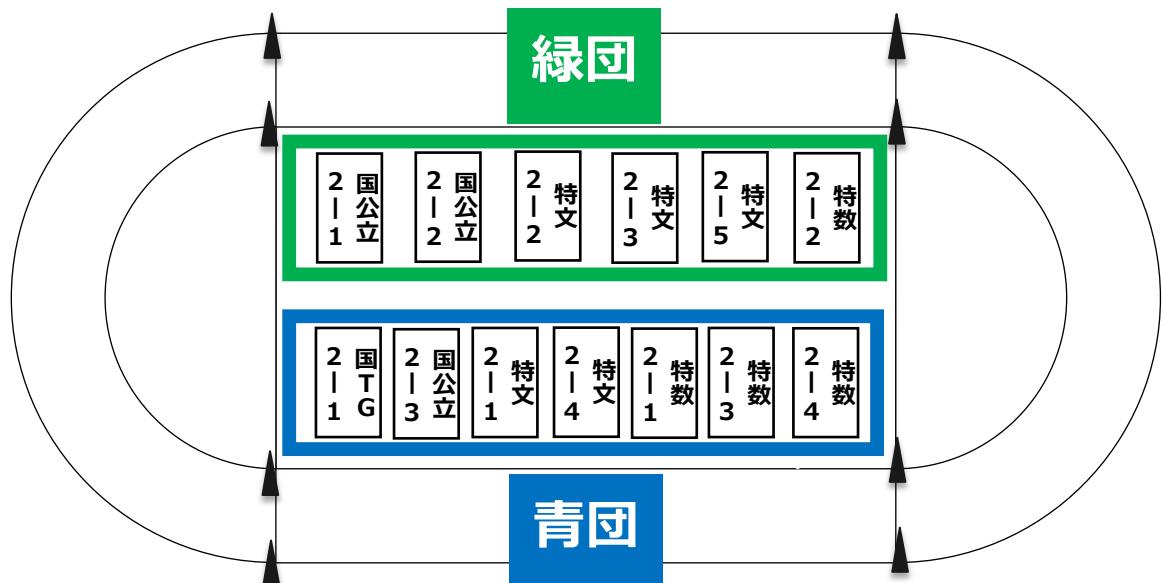
- ・制限時間は3分とする
- ・合図より前に、縄を回してはいけない
- ・競技中、回し手のどちらかが縄を離した場合は縄を拾い、離した時点の人から再スタートする
- ・縄に引っかかった場合は次の人が再スタートする
- ・クラスごとの回数は跳ぶのに成功した累計回数である（連続で跳んだ回数ではない）

競技の進行について

- ・学年ごとに3試合行い、1試合目はオレンジ団、紫団、2試合目は緑団、青団、3試合目は赤団、黒団で行う
- ・各色の配置は図に従うものとする

勝敗について

- ・団ごとに、全クラスの累計回数の和 ÷ クラスの数で計算した平均回数が高い団から順位を付ける



人数	2学年生徒	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- 大縄は8の字跳びを行い、跳んだ累計回数を競う競技である。

競技内容詳細

- 出場生徒は図のように、クラスごとに1列で並ぶ
- スタートの合図で縄を回し始め、縄を8の字で跳んでゆく
- 3分経過して終了の合図があった時点で跳ぶのをやめる

諸注意事項

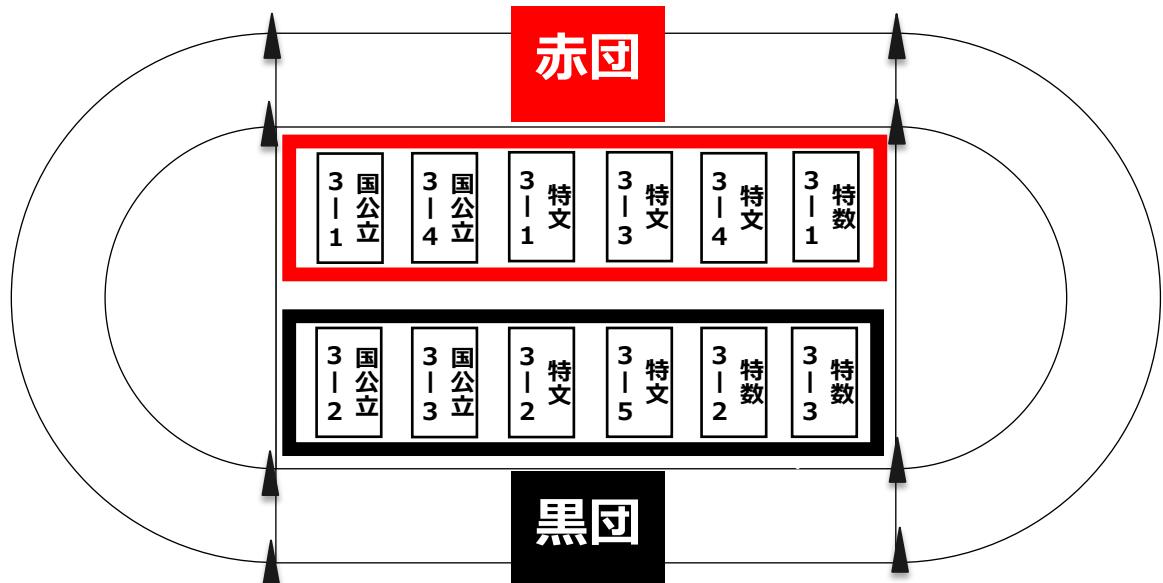
- 制限時間は3分とする
- 合図より前に、縄を回してはいけない
- 競技中、回し手のどちらかが縄を離した場合は縄を拾い、離した時点の人から再スタートする
- 縄に引っかかった場合は次の人が再スタートする
- クラスごとの回数は跳ぶのに成功した累計回数である（連続で跳んだ回数ではない）

競技の進行について

- 学年ごとに3試合行い、1試合目は橙団、紫団、2試合目は緑団、青団、3試合目は赤団、黒団で行う
- 各色の配置は図に従うものとする

勝敗について

- 団ごとに、全クラスの累計回数の和 ÷ クラスの数で計算した平均回数が高い団から順位を付ける



人数	3学年生徒	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

・大縄は8の字跳びを行い、跳んだ累計回数を競う競技である。

競技内容詳細

- (i) 出場生徒は図のように、クラスごとに1列で並ぶ
- (ii) スタートの合図で縄を回し始め、縄を8の字で跳んでゆく
- (iii) 3分経過して終了の合図があった時点で跳ぶのをやめる

諸注意事項

- ・制限時間は3分とする
- ・合図より前に、縄を回してはいけない
- ・競技中、回し手のどちらかが縄を離した場合は縄を拾い、離した時点の人から再スタートする
- ・縄に引っかかった場合は次の人が再スタートする
- ・クラスごとの回数は跳ぶのに成功した累計回数である（連続で跳んだ回数ではない）

競技の進行について

- ・学年ごとに3試合行い、1試合目は橙団、紫団、2試合目は緑団、青団、3試合目は赤団、黒団で行う
- ・各色の配置は図に従うものとする

勝敗について

- ・団ごとに、全クラスの累計回数の和 ÷ クラスの数で計算した平均回数が高い団から順位を付ける

準備する用具一覧

1年大縄跳び

大縄	クラスマニネット	ピストル
16	35	1

役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
上野 尾本		国TG2 星野	特文21 新田
田代		国23 板倉	特文22 粟井
宮戸		国23 田村	
新原		特文21 高野	
藤原		特文22 横尾	
大崎		特数21 徳佐	
樋渡		特文31 神谷	
天野		特文33 井内	
谷崎		特文33 村上	
渡辺		特文34 清水	
		特文34 平井	

なし
アナウンスで呼びかけ予定

準備する用具一覧

2年大縄跳び

大縄	クラスマニネット	ピストル
16	35	1

役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
上野 島袋		国TG1 小松	特文35 高橋
田代 西		国TG1 古屋	特数31 武谷
宮戸 野一色		国13 若月	
新原 井上		特14 岩田	
藤原		特15 神谷	
大崎		特15 長嶋	
樋渡		特文31 神谷	
天野		特文33 井内	
岩里		特文33 村上	
近堂		特文34 清水	
		特文34 平井	
		特文35 山田	
		特数32 小原	

なし
アナウンスで呼びかけ予定

準備する用具一覧

3年大縄跳び

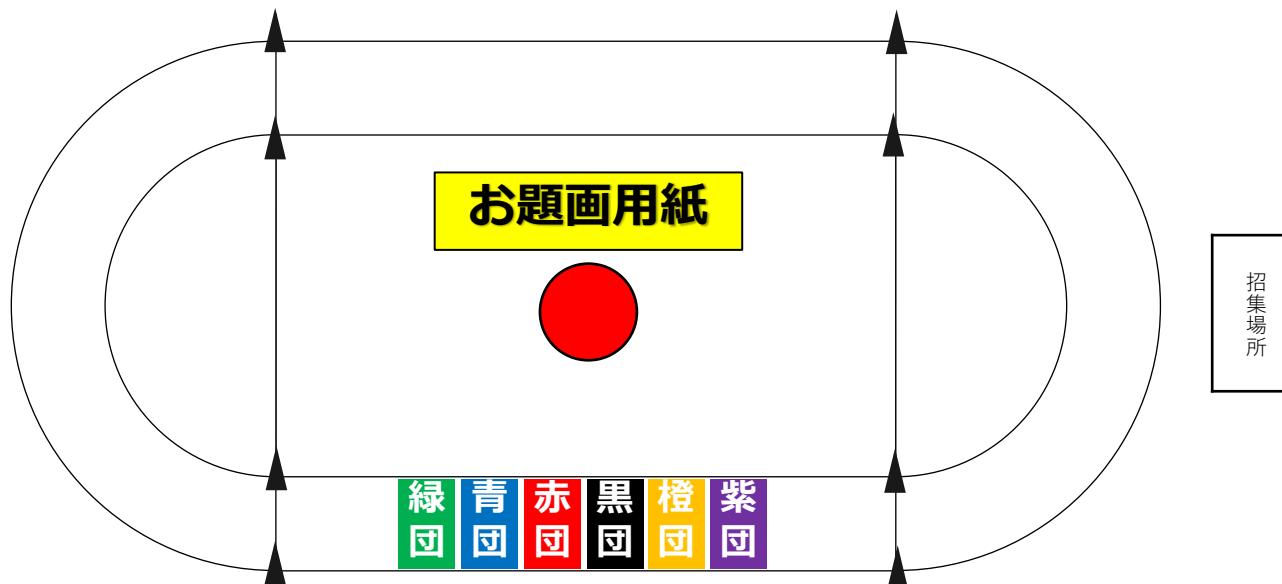
大縄	クラスマニネット	ピストル
16	35	1

役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
宮戸 野一色		国TG1 小松	国11 小林
白井 井上		国TG1 古屋	特12 西山
金渕		国13 若月	
吉野		特14 岩田	
谷崎		特15 長嶋	
葛西		特15 神谷	
渡辺		国23 板倉	
岩里		国23 田村	
近堂		国TG2 星野	
島袋		特文21 高野	
		特数21 徳佐	
		特数21 三浦	

招集場所での並び方

なし
アナウンスで呼びかけ予定



人数	合計84人 各団7人×2レース	時間	30秒以内	60秒以内	90秒以内	120秒以内	150秒以内	180秒以内
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・借り人競走はお題に適している生徒や先生を探し、一緒にゴールする速さを競う競技である

競技内容詳細

- (i) 出場生徒は団位置に団ごとに1列で集まる
- (ii) スタートの合図と同時にグラウンドの中心へ走る
- (iii) 置かれている自分の団の色のお題画用紙を一つ取り、そこに書かれている特徴の人物を探す
(該当者が生徒の場合は同じ団の観戦席から探すこと。教員の場合は観戦席でなくて良い)
- (iv) 該当する人物を見つけたら声をかけて連れて行き、2人で本部前のゴールゾーンまで走り、最初の位置で2列に並ぶ
- (v) 同じ団の生徒が全員ゴールゾーンに並んだ時点でゴールとなる

諸注意事項

- ・制限時間は3分とする
- ・各団でAチームとBチームをつくる
- ・1試合目はAチーム、2試合目はBチームが試合を行う
- ・出場生徒は白ビブスを着用する
- ・どうしてもお題の人を探せない場合は、本部まで戻り、救済案の画用紙をもらう
- ・借りていいのは『観客席にいる生徒』と『教員』のみ
(係の生徒や出場者は除外)

競技の進行について

- ・6団同時に2試合行う

勝敗について

- ・スタートの合図からゴールまでの時間で順位をつける
- ・ゴールした順位で点数をつけるのではなく、ゴールした時間で点数をつける（詳しい得点は上記の表を参照）

準備する用具一覧

借り人競走

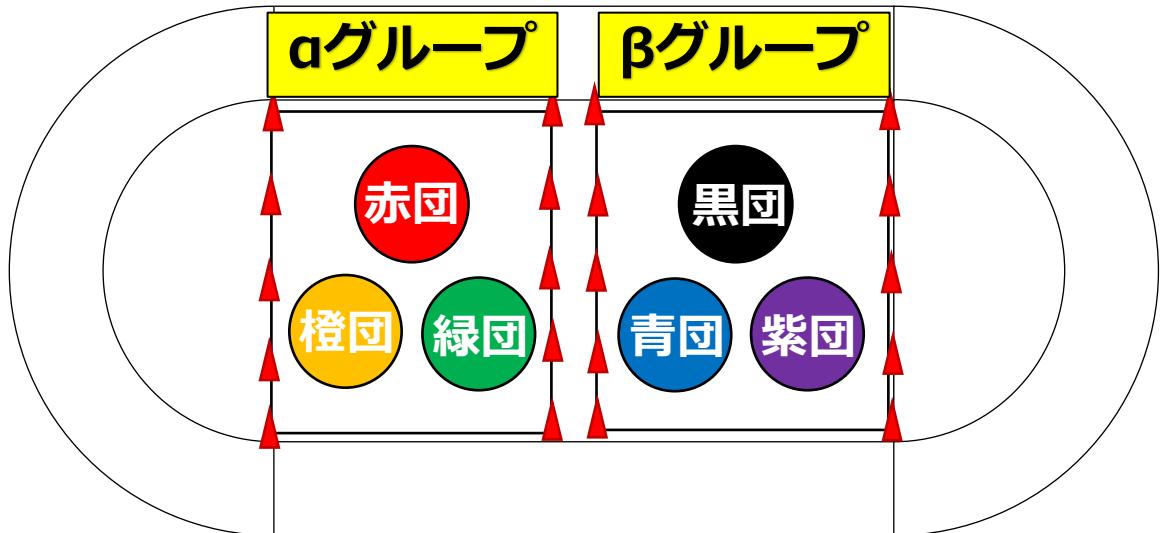
お題画用紙	白ビブス	マーカー	旗	ピストル
42	42	多数	6	1

役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
上野		国TG1 小松	特文22 粟井
島袋		国TG2 星野	特数31 武谷
西		特文21 高野	
野一色		特文22 横尾	
井上			
金渕			
吉野			
尾本			
田代			

招集場所での並び方

なし
アナウンスで呼びかけ予定



人数

合計192人
各団8騎馬 × 4人

競技種目概要

- ・騎馬戦は、各団で組んだ騎馬による合戦形式で相手の帽子を奪い合う競技である
- ・6団を2グループに分け、三つ巴戦を行い、その後各リーグの同順同士で対戦し、順位を決定する

競技内容詳細

- (i) 各団図のように所定の場所で騎馬を組む
その際、騎馬の上の生徒はヘッドギアを装着し、帽子を深く被っておく
- (ii) スタートの合図と一緒に動き出し、相手の帽子を奪い合う
- (iii) 時間切れになら 生き残っている騎馬は騎馬を崩さずにスタート位置に戻る
- (iv) 生き残っている騎馬の数が多い団から順位を付ける

諸注意事項

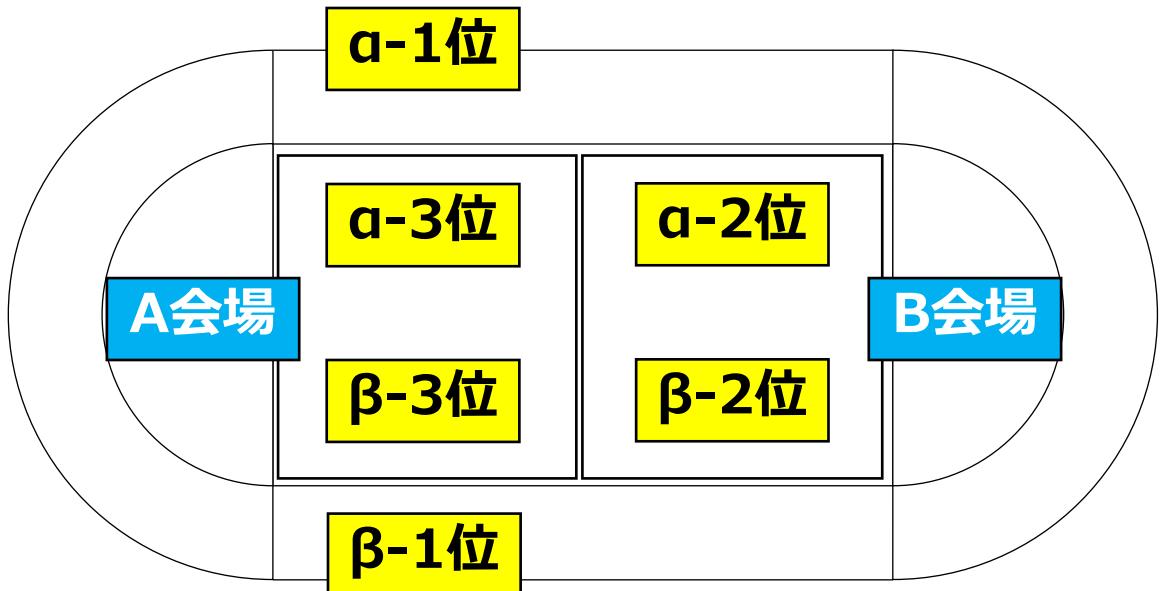
- ・帽子を奪われた騎馬はその場で騎馬を崩してスタート位置に戻って待機しておく
- ・帽子は鎧を前向きで着用すること
- ・自分の帽子を押さえてはならない
- ・騎馬が自然に崩れた場合も失格とみなし、騎馬を再度組んではならない
なお、騎馬が崩れるとは以下の場合を指す
【上の生徒の頭部が明らかに腰の高さを下回った場合】
【騎馬が一人でも外れてしまった場合】
- ・大将騎は白ビブスを着用すること

競技の進行について

- ・各学年の α ・ β の2グループでそれぞれ3つ巴戦をする
- ・ $\alpha \rightarrow \beta$ の順で試合を行う
- ・生き残った騎馬数が同数の場合、大将騎による一騎討ちを行う
- ・その後、各グループの同順同士で順位決定戦を行う（次ページ参照）

勝敗について

- ・試合開始から90秒たら終了し、その時点で残っている騎馬の多さで勝敗を決める
- ・時間が経過しなくとも2つの団が全滅した時点で終了とする



人 数	合計192人 各団8騎馬×4人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・騎馬戦は、各団で組んだ騎馬による合戦形式で相手の帽子を奪い合う競技である
- ・6団を2グループに分け、三つ巴戦を行い、その後各リーグの同順同士で対戦し、順位を決定する

競技内容詳細

- (i) 各団図のように所定の場所で騎馬を組む
その際、騎馬の上の生徒はヘッドギアを装着し、帽子を深く被っておく
- (ii) スタートの合図と同時に動き出し、相手の帽子を奪い合う
- (iii) 時間切れにならたら生き残っている騎馬は騎馬を崩さずにスタート位置に戻る
- (iv) 生き残っている騎馬の数が多い団から順位を付ける

諸注意事項

- ・帽子を奪われた騎馬はその場で騎馬を崩してスタート位置に戻って待機しておく
- ・帽子は鍔を前向きで着用すること
- ・自分の帽子を押さえてはならない
- ・騎馬が自然に崩れた場合も失格とみなし、騎馬を再度組んではならない
なお、騎馬が崩れるとは以下の場合を指す
【上の生徒の頭部が明らかに腰の高さを下回った場合】
【騎馬が一人でも外れてしまった場合】
- ・大将騎は白ビブスを着用すること

競技の進行について

- ・5・6決定戦→3・4位決定戦→1・2位決定戦の順で試合を行う
- ・1・2位決定戦を行う団は待機場所で座っておく
- ・生き残った騎馬数が同数の場合、大将騎による一騎討ちを行う

勝敗について

- ・試合開始から90秒たら終了し、その時点で残っている騎馬の多さで勝敗を決める
- ・時間が経過しなくとも2つの団が全滅した時点で終了とする

準備する用具一覧

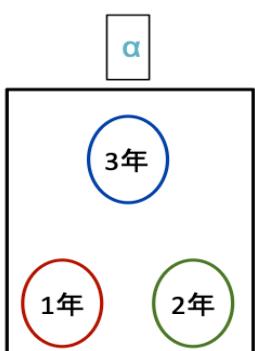
騎馬戦 (女子)

ヘッドギア	帽子	大将ビブス	審判旗	ゴミバケツ
48	48	6	1	6
マーカー	コーン	ピストル	軍手	
多数	20	1	48	

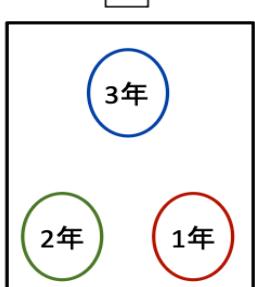
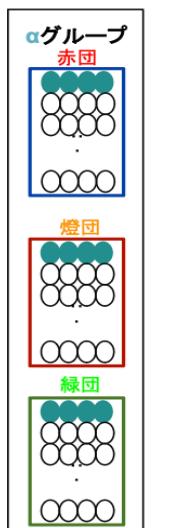
役割のシフト表

審判	招集・誘導	用具	記録
上野	国13 山本	国TG1 小松	特文21 新田
谷崎	特11 高橋	国TG1 古屋	特数31 武谷
渡辺	数22 涌井	国13 若月	
尾本	数24 三井	特15 神谷	
島袋	数32 岡田	国23 板倉	
西	数33 宮本	国23 田村	
吉野		特文21 横尾	
		特文31 神谷	
		特文33 井内	
		特文33 村上	
		特文34 平井	
		特数32 小原	

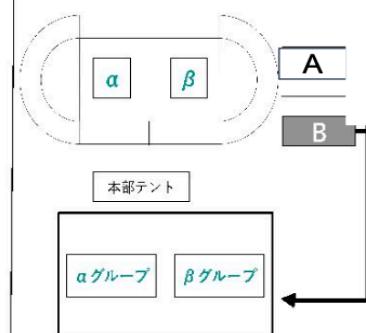
招集場所での並び方



フィールド内へ移動

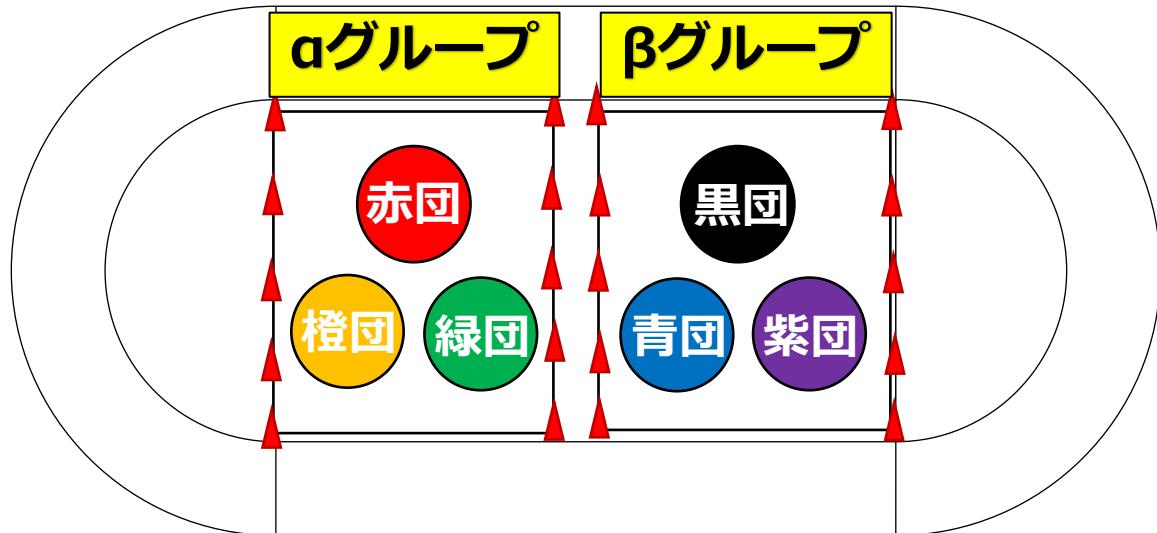


騎馬戦 (女子): 招集場所B



・各チーム縦8列×横4人となるように並ぶ。

●●●● : 各学年先頭の列の位置



人数

合計192人
各団8騎馬 × 4人

競技種目概要

- ・騎馬戦は、各団で組んだ騎馬による合戦形式で相手の帽子を奪い合う競技である
- ・6団を2グループに分け、三つ巴戦を行い、その後各リーグの同順同士で対戦し、順位を決定する

競技内容詳細

- (i) 各団団のように所定の場所で騎馬を組む
その際、騎馬の上の生徒はヘッドギアを装着し、帽子を深く被っておく
- (ii) スタートの合図と一緒に動き出し、相手の帽子を奪い合う
- (iii) 時間切れになら 生き残っている騎馬は騎馬を崩さずにスタート位置に戻る
- (iv) 生き残っている騎馬の数が多い団から順位を付ける

諸注意事項

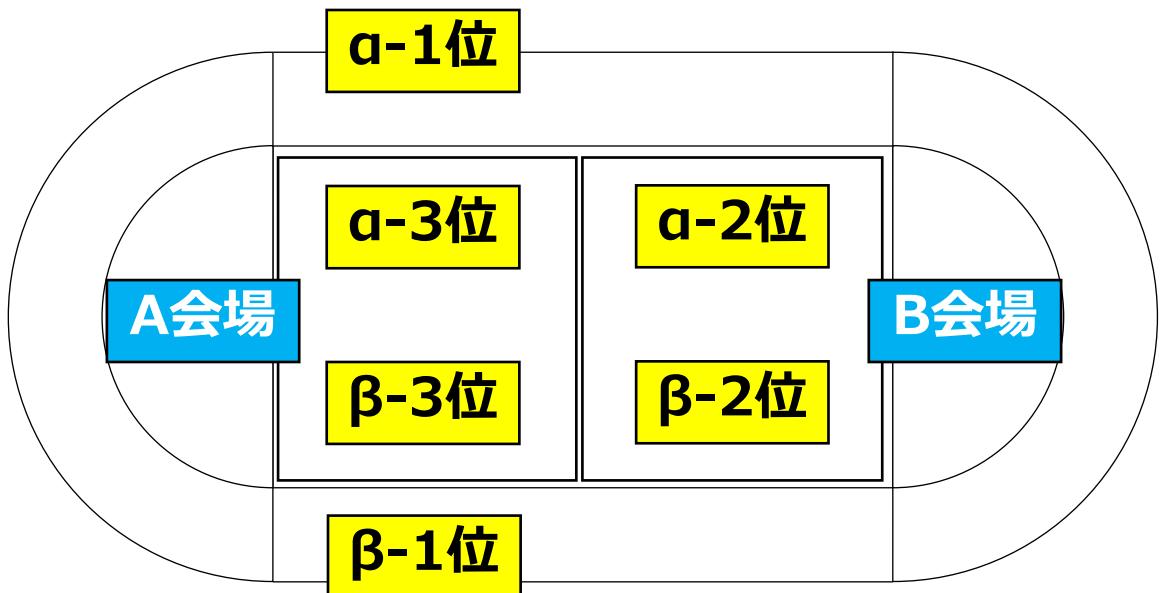
- ・帽子を奪われた騎馬はその場で騎馬を崩してスタート位置に戻って待機しておく
- ・帽子は鍔を前向きで着用すること
- ・自分の帽子を押さえてはならない
- ・騎馬が自然に崩れた場合も失格とみなし、騎馬を再度組んではならない
なお、騎馬が崩れるとは以下の場合を指す
【上の生徒の頭部が明らかに腰の高さを下回った場合】
【騎馬が一人でも外れてしまった場合】
- ・大将騎は白ビブスを着用すること

競技の進行について

- ・各学年のα・βの2グループでそれぞれ3つ巴戦をする
- ・α → βの順で試合を行う
- ・生き残った騎馬数が同数の場合、大将騎による一騎討ちを行う
- ・その後、各グループの同順同士で順位決定戦を行う（次ページ参照）

勝敗について

- ・試合開始から90秒たら終了し、その時点で残っている騎馬の多さで勝敗を決める
- ・時間が経過しなくとも2つの団が全滅した時点で終了とする



招集場所

人 数	合計192人 各団8騎馬×4人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

- ・騎馬戦は、各団で組んだ騎馬による合戦形式で相手の帽子を奪い合う競技である
- ・6団を2グループに分け、三つ巴戦を行い、その後各リーグの同順同士で対戦し、順位を決定する

競技内容詳細

- (i) 各団図のように所定の場所で騎馬を組む
その際、騎馬の上の生徒はヘッドギアを装着し、帽子を深く被っておく
- (ii) スタートの合図と同時に動き出し、相手の帽子を奪い合う
- (iii) 時間切れにならたら生き残っている騎馬は騎馬を崩さずにスタート位置に戻る
- (iv) 生き残っている騎馬の数が多い団から順位を付ける

諸注意事項

- ・帽子を奪われた騎馬はその場で騎馬を崩してスタート位置に戻って待機しておく
- ・帽子は鍔を前向きで着用すること
- ・自分の帽子を押さえてはならない
- ・騎馬が自然に崩れた場合も失格とみなし、騎馬を再度組んではならない
なお、騎馬が崩れるとは以下の場合を指す
【上の生徒の頭部が明らかに腰の高さを下回った場合】
【騎馬が一人でも外れてしまった場合】
- ・大将騎は白ビブスを着用すること

競技の進行について

- ・5・6決定戦→3・4位決定戦→1・2位決定戦の順で試合を行う
- ・1・2位決定戦を行う団は待機場所で座っておく
- ・生き残った騎馬数が同数の場合、大将騎による一騎討ちを行う

勝敗について

- ・試合開始から90秒たら終了し、その時点で残っている騎馬の多さで勝敗を決める
- ・時間が経過しなくとも2つの団が全滅した時点で終了とする

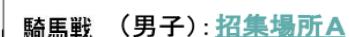
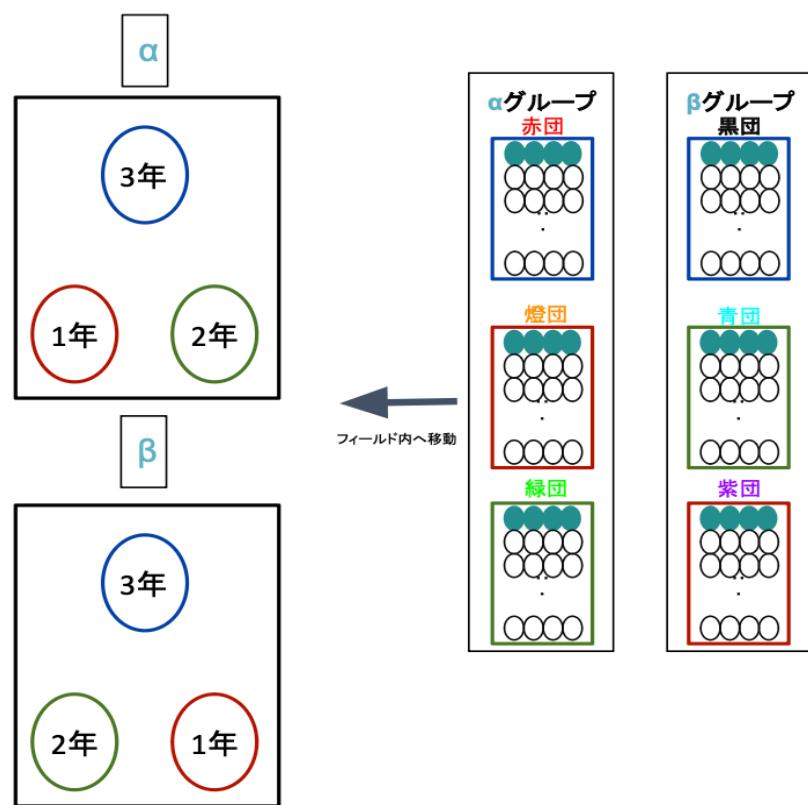
準備する用具一覧

騎馬戰（男子）

ヘッドギア	帽子	大将ビブス	審判旗	ゴミバケツ
48	48	6	1	6
マーカー	コーン	ピストル	軍手	
多数	20	1	48	

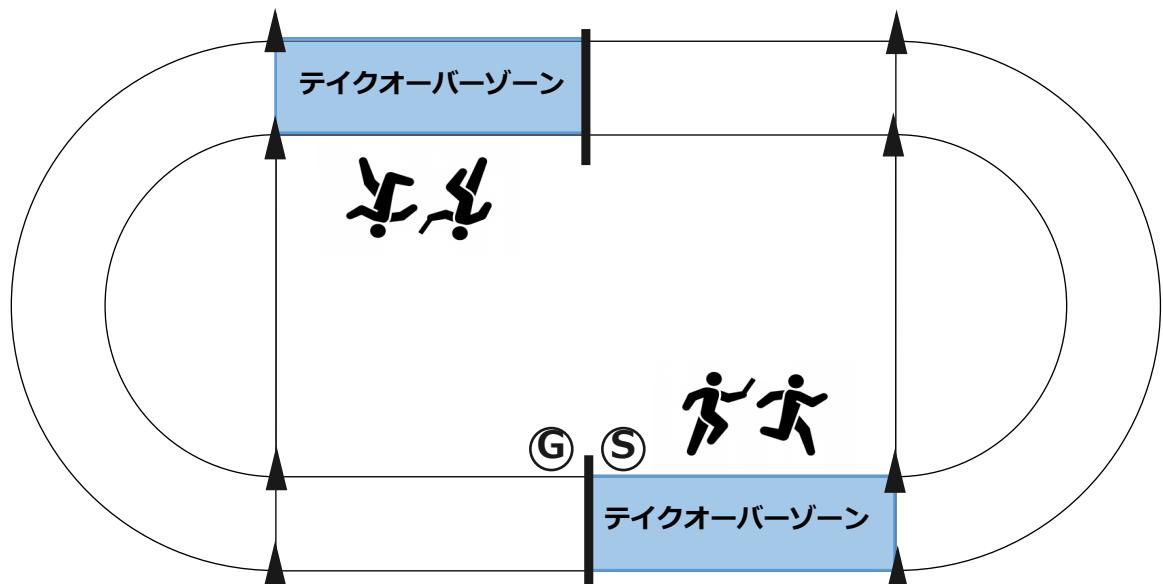
役割のシフト表

招集場所での並び方



・各チーム縦8列×横4人となるように並ぶ。

：各学年先頭の列の位置



人数	合計84人 各団14人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

・6団女子対抗リレーは、各団で編成したメンバーでバトンを渡していく、スタートからゴールまでの速さを競う競技である

競技内容詳細

- (i) 第1走者は各団本部テント側のスタート位置につき、ピストルの合図でスタートする
- (ii) 各走者はそれぞれ半周を走る
- (iii) アンカーがゴールラインを通過した時点でゴールとなる

諸注意事項

- ・アンカーは白ビブスを着用する
- ・フライングがあった場合はスタートをやり直す
- ・バトンを落としてしまった場合、バトンを拾って落とした地点から再スタートする
- ・バトンの受け渡しはテイクオーバーゾーンでおこなう
- ・テイクオーバーゾーンでバトンを受け渡せなかった場合は失格とする
- ・スタートしてすぐインコースに入れるものとする

競技の進行について

- ・全団同時に対戦する

勝敗について

- ・スタートの合図からゴールまでが速い団から順位を付ける

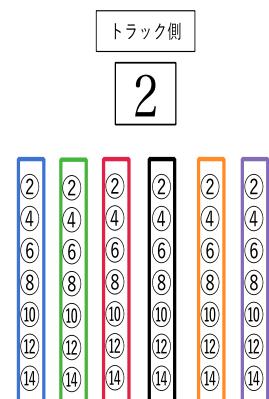
準備する用具一覧

6団女子対抗リレー

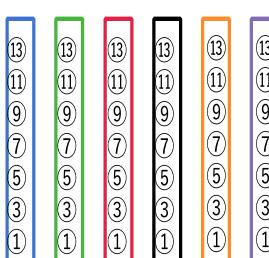
バトン	白ビブス	ゴールテープ	ピストル
6	6	1	1

役割のシフト表

招集場所での並び方



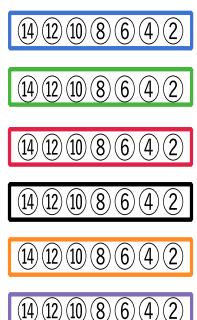
フィールド内へ移動



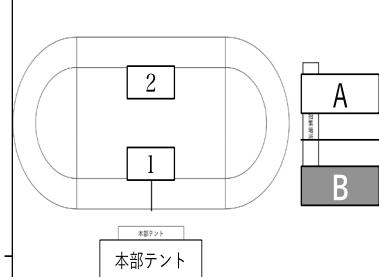
フィールド内へ移動



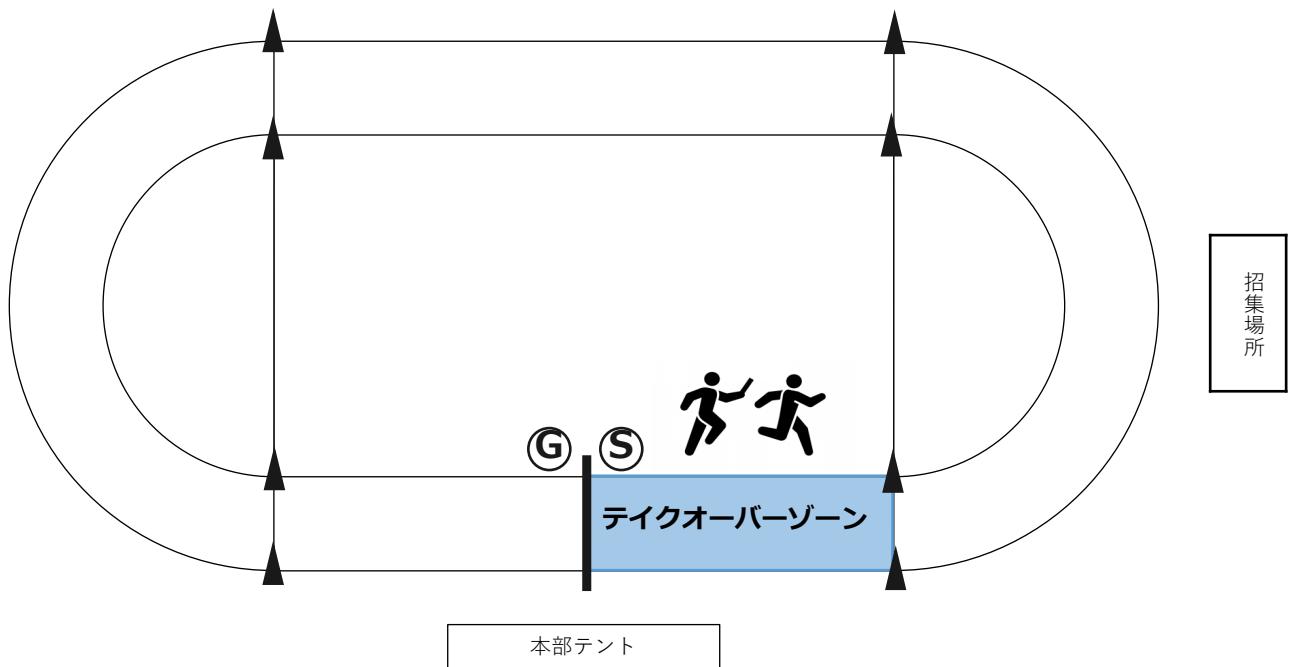
トラック側



女子対抗リレー：招集場所B



- ・右図の丸数字⇒競技中の走順
 - ・各団⑭（アンカー）の人から入場
 - ・各団縦2人×横7人で並びます。
 - ・青⇒赤⇒緑⇒黒⇒橙⇒紫の順で移動します。
 - ・フィールド内では縦7人×横6人となります。



人 数	合計42人 各団7人	順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
		得点	10	8	6	4	3	2

競技種目概要

・6団男子対抗リレーは、各団で編成したメンバーでバトンを渡していく、スタートからゴールまでの速さを競う競技である

競技内容詳細

- (i) 第1走者は各団本部テント側のスタート位置につき、ピストルの合図でスタートする
- (ii) 各走者はそれぞれ1周を走る
- (iii) アンカーがゴールラインを通過した時点でゴールとなる

諸注意事項

- ・アンカーは白ビブスを着用する
- ・フライングがあった場合はスタートをやり直す
- ・バトンを落としてしまった場合、バトンを拾って落とした地点から再スタートする
- ・バトンの受け渡しはテイクオーバーゾーンでおこなう
- ・テイクオーバーゾーンでバトンを受け渡せなかった場合は失格とする
- ・スタートしてすぐインコースに入れるものとする

競技の進行について

- ・全団同時に対戦する

勝敗について

- ・スタートの合図からゴールまでが速い団から順位を付ける

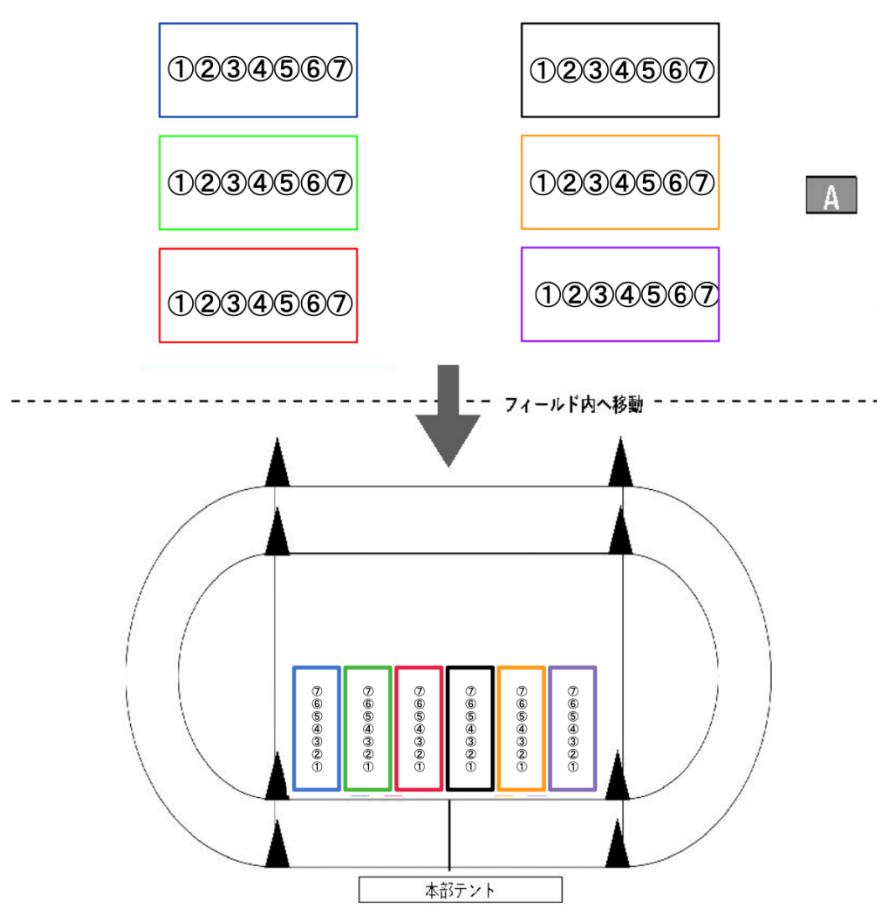
準備する用具一覧

6団男子対抗リレー

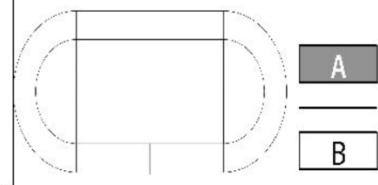
バトン	白ビブス	ゴールテープ	ピストル
6	6	1	1

役割のシフト表

招集場所での並び方



男子対抗リレー：招集場所A



- 左図の丸文字→競技中の走順
 - 各団 横7人で並ぶ。
 - 移動後の整列体系は、各団縦7人で並ぶ。



本部テント

式次第

(司会：企画委員 特進1－5 長嶋 真輝)

1：成績発表

(企画委員 特数2－1 三浦 周大)

2：表彰

3：講評

(企画委員長 特文3－1 地下 玄乃)

4：校歌斉唱

5：閉会の辞

(企画委員長 特文3－1 地下 玄乃)

6：全員退場

7：SHR

大参上！
太陽戦隊オレンジャー

魁山倒海

氣炎万丈

黒士無双

青雲之志

竜胆